



スペースジャパンレビュー編集委員巻頭言 平成25年(2013年)癸巳

明けましておめでとうございます。2013年となりましたが、昨年は政治的・経済的に不安な出来事がいくつも出現し、不安定な年であったと思います。今年こそは昨年とは違う発展の年となることを期待します。科学技術の発展が国の経済発展の基礎であるという認識を確とし、衛星通信は科学技術の中心的な技術となり得ることが認識されることを期待します。このような情勢の中でSpace Japan Reviewは引き続き皆様のご協力により役立つ情報を発信させていきたいと思ひます。引き続きご支援をよろしくお願ひ致します。

編集顧問 飯田尚志

A Happy New Year! The new year of 2013 has come. The last year was an unstable year because many anxious incidents happened in the policy and economy matters. Precisely this year I hope it will be a year of development, unlike last year. Being securely understood that development of science and technology is the basis of the country's economic development, satellite communications is expected to be recognized that it could be a technical center of science and technology. We would like to continue transmitting the useful information through the Space Japan Review. We appreciate your continuous support for the JFSC.

Takashi Iida, Editorial Advisor

読者の方々が興味をもって読んで頂ける有益な記事を、継続的にタイミングよくお届けするという重要な使命を果たすには、我々編集委員はまだまだ努力が必要と思ひます。忌憚のないコメントやご鞭撻が頂けることを期待申し上げます。

編集顧問 植田剛夫

In order to achieve the important goal of the Editorial Committee, to provide the useful information to the "Space Japan Review" readers,



continuously and in the timely manner, we should exert our further efforts in our committee activities. Frank comments from the readers guiding and encouraging us will be highly appreciated.

T. Ueda, Editorial Advisor

記事の執筆をご快諾頂けましたこと感謝しております。様々な話題に触れられる編集委員会の活動を楽しみつつ、興味引く情報をお伝えできるよう、本年も記事の編集に努めます。ご支援をよろしくお願いいたします。

高山佳久

First of all I would like to express my thanks for willingly writing the articles. Enjoying the activities of the editorial committee of AIAA/JFSC Space Japan Review with touching various topics, I will try to provide interesting information through SJR. Thank you for your support for the JFSC.

Yoshihira Takayama

皆さま、あけましておめでとうございます。

東日本大震災から2年が経とうとしていますが、被災地での復興は未だほど遠い状況です。昨年被災地を訪れ、何人かの防災責任者の方からお話を伺うことが出来ましたが、改めて、災害時の被災状況の瞬時の把握、通信(特に携帯)及びそれに係る電力の確保の重要性を再認識させられました。今後ともこれらの分野で少しでも皆様方のお役に立つ情報を提供できるよう努力する所存です。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

門脇 隆

あけましておめでとうございます。

情報通信研究機構では東日本大震災での経験を受け平成24年4月1日に東北大学片平キャンパス内に「耐災害ICT研究センター」を設置し、災害に強い情報通信技術の研究開発を産学官連携の下でスタートさせました。当センター企画室長としての業務多忙のため、編集作業に遅れが生じ、これまで2ヵ月に1度の発行が4ヵ月に1度の発行に余儀なくされました。それでも読者の皆様のご期待と編集委員会の協力で、何とか発行を続けることができました。読者の皆様には大変ご迷惑をおかけしていることと思っておりますが、今後も継続するための最大限の努力をする所存ですので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

編集委員長
若菜弘充